月刊

キングラン通信　7月号

COVER PEOPLE

ちょっとした事の積み重ねを、どこまでも追及していく。

病室・居室にお伺いし、カーテン交換作業を務めるメンテナンススタッフ。彼らは入社後、独り立ちするまで相当時間の研修を受けます。新入社員の誰もが、初めてメンテナンスを見た時、「自分にここまで出来るだろうか」という印象を持つそうです。一つ一つの所作はちょっとしたものに過ぎませんが、それらを追求し、積み重ねてきた集合体が、大きなパワーを持った我々の「メンテナンス」というものに変わっていくのです。

▲壁に手を添える際はハンカチを持って。
埃を壁に付けないちょっとした習慣。

メンテナンス課一のベテラン。「スピードスター」柴田

柴田　年弘 しばた　としひろ
入社１４年目 メンテナンス課 主任

入社から１４年間、メンテナンスの品質向上に努めてきたベテラン・柴田です。柴田は社内で最もカーテン交換のスピードが速く、病室でも患者様から感心の声を頂くこともしばしば。作業による患者様のストレスを少しでも軽減しようという想いから、手早い仕事を心がけています。

彼の好きなものは草野球とドラゴンズですが、昨年子供が生まれたこともあり、最近では休日も趣味より育児を優先しているとか。現在１１カ月のお子さんはつかまり立ちに夢中。家の中を手押し車で全力疾走する彼女を追いかけまわす週末なのだそうです。

さりげない気遣いが光る。メンテナンスの模範・守田。

守田　正浩 もりた　まさひろ
入社８年目　メンテナンス課

入社8年目の守田も、柴田と同じく社内のトップレベルの技術を持つ一員。「ちょっとした事の積み重ね」である当社らしいメンテナンスを実直に遂行する守田。周囲の環境・状況によく気づき、その場に合った対応を責任持ってこなす、当社の模範でもあります。

守田は地域の消防団の分団長も務め、火事・災害時には分団の指揮を執り、昼夜構わず地域住民のために働いています。災害時以外にも、訓練や見回りで仕事が終わった後にいそいそと出かけることもしばしば。操法の大会シーズンには、毎朝5時からの早朝特訓が2カ月も続いたとか。オン・オフともに大忙しの守田でした。

▲操法の大会では、守田が分団長を務める
分団から２名の優秀者を輩出しました。

月刊 キングラン通信

2013年 7月号

全国ＴＯＰ！

こんにちは、「月刊キングラン通信」編集部の原田です。先日、全国のキングラングループの報奨旅行に行って参りました。当社からも受賞者が数名選出されました。中でも、カーテン交換で現場にお伺いする当社のメンテナンス部隊は、総合成績において全国ＴＯＰを取ることが出来ました。これを励みに、今後も一同精進して参りたいと思います。

【King “Run”】
各市のマラソン大会にお伺いするかも？

マラソン大会行脚企画発動？

「King ”Run”」のコラムが始まって１０カ月が経ちました。河合・原田で毎週ジョギングをしたり、5km 程度のマラソン大会に出場したりしてきました。そのマラソン大会で、各地域のお客様との出会いがあり、私たちも大変貴重な経験をすることが出来ました。これを受けて、今年の秋から始まるマラソン大会シーズンには、各地のマラソン大会を行脚してみては？という話が出て来ました。とても楽しそうなので、社員有志で実行してみようかと思っています。全ての大会に出られるかは分かりませんが、是非頑張ってみたいものです。企画内容はまた追ってお知らせさせて頂きます。

現在通算 228km。小田原宿を通過中

現在、ジョギングは通算 228km となり、東海道でいうと小田原宿を通過し、国府津あたりまで来ている計算になります。あと日本橋まで 90km 近くありますが、頑張ってやり遂げたいと思っています。

小田原宿は、小田原城下にある、江戸を出て最初の城下町にある宿場でした。かつて関八州を統一した後北条氏の城下町として繁栄した小田原は、関東への出入口として重要な拠点であったそうです。

【河合写真館】

いよいよ収穫！

夏野菜の収穫時期

こんにちは、メンテナンス課の河合です。7月に入り梅雨明けしてから、続々と夏野菜の収穫が続きます。きゅうり、なす、ピーマン、トマト、オクラ、スイカ。そんな中、この通信でも話題にしてきたジャンボししとうと鉢植え小玉スイカの収穫も迎えました。

まあまあ育ったジャンボししとう

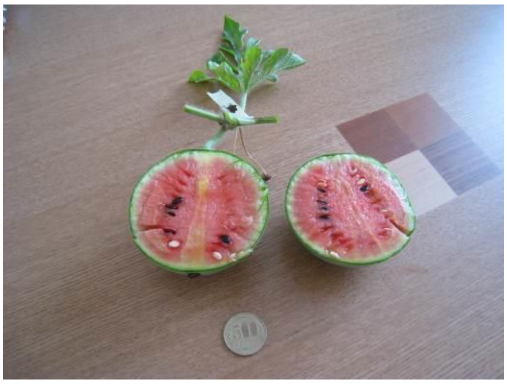
商品ラベルの写真の大きさとまでにはいきませんでしたが、大きくなったジャンボししとうです。苦みの少ないピーマンといった感じでしょうか、おいしくいただきました。

枯れちゃった？？小玉スイカ

続いて小玉スイカ。梅雨時の多水と曇り空の日光不足で、葉が黄色くなり、下葉が枯れてしまい成長が止まってしまいました。

なぜかツルも伸びなくなってしまい、果実も拳大くらいで、収穫予定の 30 日目を迎えました。下は枯れていても果実周辺はまだ生きていましたので、もう少し置いておこうかと迷いましたが、これ以上大きくなる気配が感じられない！と思い切って収穫することに。

う～ん、これは失敗か、いやいや凝縮されたおいしいスイカになったに違いない！ということで早速切ってみました。包丁を入れた瞬間に包丁ラインから外れて割れが入りました。みずみずしい証拠です。



さすがに味は薄いけれども思った以上に甘い、超の付くミニスイカでした。来年は畑で思いきりスイカ栽培してみたくなりました。

【今月のいいね！画像】
とらんぽり～ん

こちらは、名古屋市にある「トランポリンハウス Vivace」。全４面のトランポリンがあり、事前予約で１時間ほど子供と一緒に遊びました。子供はとにかく大はしゃぎで飛び回りましたが、大人にとっては全身の筋肉を使う過酷なスポーツ！行かれる際は十分な準備体操と筋肉痛への備えをお忘れなく（笑）

【今月の福祉用具マメ知識】
車いすタイヤの空気漏れ

空気がすぐ抜けてしまう車いす

こんにちは！キングラン東海ホームケア課の中村です。

少し前の話になりますが、某施設様より「車いすの空気がすぐ抜けてしまって困っているので見て欲しい」との相談がありました。

車いすを見せてもらうと、中古で購入されて１年ぐらい使用していましたが、最近すぐ空気が抜けるようになったそうです。

虫ゴムの劣化がもたらした空気漏れ

タイヤを見る限りパンクではなさそうです。一度タイヤに空気を入れてみると普通に入り、タイヤを押しても空気漏れの音はしません。それでも時間が経つと空気が抜けてしまう。

そこでタイヤのバルブを抜いてみると…

バルブのゴムが劣化していました。自転車タイヤ部品でムシ（虫ゴム）といわれている部分です。これが原因で空気抜けが発生していたと思われます。

虫ゴムのいらないスーパーバルブ

虫ゴム交換でも良かったのですが、メンテナンスを楽にして頂ければと思い、空気が抜けにくく虫ゴム不要のスーパーバルブに交換する事にしました。（ダイソーなど 100 円ショップで売っています。）

バルブ交換してから１ヶ月程して再訪問してみると、毎日使用していても空気はしっかり入っていました。これで今後空気を頻繁に入れることはなさそうです。

車いすの不具合に関して、一つ経験を積むことが出来ました。これからも一つ一つ勉強を積み重ね、よりお役立ち出来るように頑張っていきたいと思います。

【白井隆仁の、今月の社内行事】

カナダに行ってきました

報奨旅行でカナダへ！

メンテナンス部の白井です。先日、キングラングループの褒賞旅行で、カナダに行ってきました。初めてのカナダでしたが、とても楽しむことができました。

カナダはサーモンや、アイスワインなどが有名で、とてもおいしかったです。そして、カナダといえばなんといっても広大な自然。これは、日本では味わえない感動がありました。

自分へのおみやげとして、トーテムポールの置物も買えて、大満足な旅になりました。また是非カナダに行きたいです。ちなみに、日本に帰ってきて、１ 番最初に食べたくなったものは、味噌汁でした。

【釣りバカ俊ちゃんの No Fish, No Life】

松川、黒川にて渓流釣り

こんにちは。クリーニングの鈴木です。

７月某日、飯田にある松川と黒川に行きました。なかなか険しい渓流でした。先行者の足跡も新しく、魚がスレて（用心深くなって）ないか心配でしたが、なかなかルアーに反応が良く、まずまずの釣果でした。

途中転んで血を流したり、突然の雨で鉄砲水から避難したりなど、帰り道は３時間かかりました。ですが、大自然とキレイな魚に癒されました。

来月も釣るぞー！

【ボランティア活動報告】

進化した利き茶ボランティア

ほうじ茶パフォーマンスに会場沸騰！

先日、豊川市のクリニックのデイサービスにて、以前もご協力頂いた『いさし園』さんによる利き茶ボランティアを開催して参りました。３種類のお茶を飲んで当てる「利き茶」の他に、茶葉をホットプレートで「焙じる」ほうじ茶を作るパフォーマンスを行いました。茶葉を焙じる香りが会場の皆さんを楽しませてくれました。進化した『いさし園』さんの利き茶ボランティアに今後も注目です。

【Facebook にてボランティア情報配信中】
https://www.facebook.com/hapibora

【今月のいいね！画像】　Vol.2

浜松こども館は楽しい！

こちらは浜松のザザシティ６階にある「浜松こども館」。大人 200 円という格安料金で、2 階分をぶち抜いた巨大遊具など、半日では遊びきれない施設に、子供は大興奮です。広くて迷子になるので、大人は大変ですが…

【今月の心に残る論語】

立派な人は、喜ばせ難い？

一緒に働きやすいリーダーとは

子曰く、君子は事へ易くして悦ばしめ難し。
之を悦ばしむるに道を以てせざれば、
悦ばざるなり。
其の人を使ふに及びては、之を器にす。

小人は事へ難くして悦ばしめ易し。
之を悦ばしむるに道を以てせずといえども、
悦ぶなり。
其の人を使ふに及びては備はらんことを求む。

子曰く、徳孤ならず、必ず隣有り。

立派なリーダーはお世辞や甘言で喜ぶことはない。道理に沿ってしっかりと仕事をすることでなければ喜ぶことはない。そのようなリーダーの下では働きやすい。
一方、お世辞や上っ面の言葉で喜ばせやすいリーダーは、立派なリーダーとは言えない。そのようなリーダーに限って、自分では備わっていないことを人に求めようとする。
徳を持って行動するリーダーは決して孤独ではなく、理解者に恵まれるものである。

自身の過去の経歴を振り返ってみると、この２タイプの上司が程度の差こそあれ存在しました。お世辞やごまかしの利かない上司は厳しかったですが、一緒に働きやすく、正当な評価をもらっていた記憶があります。今後は自分自身がそうであるために、自戒をしていかなければならない。今後も学びと実践を繰り返して身に付けていきたいと思います。

【参考文献】
『親子で学ぶ人間の基本』
田口　佳史（著者・監修）

【今月の”実践”したくなる一冊】

原理原則を経営に活かす

このコーナーでは、ビジネス・組織運営に役立ち、”実践”したくなるノウハウが満載の書籍をご紹介します。

『生き方
～人間として一番大切なこと』
稲盛和夫(著)　サンマーク出版
2004 年８月１０日　発行

倫理･道徳を学び進める中で…

ここ最近、『論語』をはじめとした倫理・道徳に関する学びを日々進め、少しずつ実践してきました。すると過去は「スキル」を中心とした書籍を読むことが多かったのですが、自然とそういった書籍から、考え方や原理原則に関しての書籍に興味が移り始めました。今回紹介する稲盛氏の書籍は、刊行はもう９年前になります。発行当初から気になっていたのですが、なかなか読む機会がありませんでした。そんな中、私と価値観を同じくする経営者の方の勧めもあり、満を持して本書を手に取ることになりました。

JAL を再生させた秘訣とは…

稲盛和夫氏は、京セラ・KDDI の創業者であり、その経営哲学が多くの経営者に影響を与え、若手経営者の集まる「盛和塾」を運営し、経営者の育成にも務めています。また最近では､JAL の名誉会長として再建に携わり、会社更生法適用からわずか２年で、営業利益 2000 億円というＶ字回復をさせたことで話題になりました。誰もが注目する稲盛氏の経営手腕ですが、彼のノウハウは極めてシンプル。それは､「人間として正しいかどうか」という原理原則を貫いてきたことにあります。その集大成とも言える著書がこの一冊です。

『生き方』と「実践」に感銘

「懸命に働く」「ただいま、このときを必死に生きる」ことが、創造性をもたらす。「利他に徹する」。「リーダーには才よりも徳が求められる」。「現場で自ら汗をかかないかぎり経営なんてものはできやしない」などなど。

本書の中には経営に役立つ考え方が数多く載せられています。中でも、本田宗一郎さんのセミナーで、本田氏本人に「経営の勉強をしにきたらしいが、そんなことをするひまがあるなら、一刻も早く会社へ帰って仕事をしなさい。」と言われたくだりはぐっと来ました。

これらの言葉を胸に、私自身、現場で懸命に仕事をしていきたいと改めて思いました。

編集後記

JAZZ がプチマイブーム？

最近、ご縁を頂いて JAZZ のコンサートに行く機会がしばしばあったせいか、JAZZ が少し好きになって来ました。小さな JAZZ バーでお酒を飲みながら演奏を聞いたり、車の中で JAZZ の CD を聞いたり。でも「JAZZ スタンダード」とか言われても全く分からないレベルなので、どなたかお勧めの JAZZ を教えてくれる方を募集しております。

キングラン通信編集部
原田　浩史

＜発行＞
KINGRUN　キングラン東海株式会社
【本社】　〒442-0811 愛知県豊川市馬場町薬師 75 番地
TEL：0533-89-4545 ／ FAX：0533-89-2282
【沼津営業所】　〒411-0824　静岡県三島市長伏 83-3
コーポラス杉山Ｖ　1-A
TEL：055-984-3636 ／ FAX 055-984-3637
【ホームページ】http://www.kingrun-tokai.co.jp/